

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

(生活) 小委員会委員長

久 慈 学



調査研究 審議の経過	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none">・東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書、啓林館、日本文教出版の 7 者。 <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none">・第 1 回調査委員会（6 月 2 6 日）で 7 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。・第 2 回調査委員会（7 月 1 5 日、1 6 日）に各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。 <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none">・取扱内容については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているかという視点で調査し整理した。・内容の構成・排列、分量等については、児童の興味・関心や地域の実態に応じているかという視点で調査し整理した。・使用上の配慮等については、児童の学習意欲を高める工夫や、児童が主体的に学習に取り組める工夫、使用上の便宜は図られているかという視点で調査し整理した。
全体を通じての特徴	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 東京書籍については、児童が見通しをもって取り組めるように、学習の流れやねらいが示されるとともに、学習活動例や体験活動の資料が示しているという特色があり、優れている。</p> <p>大日本図書については、児童が自分の成長を振り返ることができるように、学習課題や学習方法、児童のノートなどの記述が段階的に表現されているという特色があり、優れている。</p> <p>学校図書については、児童が学習方法を理解することができるように、上下巻末に「まなびかたずかん」を設け、生活科の学習で役立つ内容を示しているという特色があり、優れている。</p> <p>教育出版については、児童がねらいや活動の流れを理解しやすいように、活動で何をどう学ぶのか、ねらい、学習内容、ヒントなどをまとめているという特色があり、優れている。</p> <p>光村図書については、児童が主体的に学習に取り組むことができるように、学習の流れを 3 段階で示しているという特色があり、優れている。</p> <p>啓林館については、児童が単元を通して活動が深められるように、4 段階で示しているという特色があり、優れている。</p> <p>日本文教出版については、児童が主体的に学習に取り組むことができるように、活動のきっかけ、観点を示唆するカードを示しているという特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、教育出版と啓林館については、学習意欲が高まるような豊富な資料や別冊資料の利便性などが話題となった。</p>

生活の目標等について
<p>【教科の目標】</p> <p>具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。</p>
<p>【学年・領域等の目標など】</p> <p>[第1学年及び第2学年]</p> <p>(1) 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。</p> <p>(2) 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。</p> <p>(3) 身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようにする。</p> <p>(4) 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。</p>

【参考】

- 具体的な活動や体験を通して、人や社会、自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるといったその趣旨の一層の実現を図るため、人や社会、自然とかかわる活動を充実し、自分自身についての理解などを深めるよう改善を図る。
- 気付きの質を高め、活動や体験を一層充実するための学習活動を重視する。また、科学的な見方・考え方の基礎を養う観点から、自然の不思議さや面白さを実感する学習活動を取り入れる。
- 児童を取り巻く環境の変化を考慮し、安全教育を充実することや自然の素晴らしさ、生命の尊さを実感する学習活動を充実する。また、小学校における教科学習への円滑な接続のための指導を一層充実するとともに、幼児教育との連携を図り、異年齢での教育活動を一層推進する。

○ 標準授業時数

第1学年－102単位時間

第2学年－105単位時間

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	2・東書	第1・2学年	生活131 生活132	どきどきわくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへジャンプ 新編 新しい 生活 下
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「自分と人とのかかわり」については、学校探検で見つけたことを友達に話したり、新1年生に学校のことを紹介したりする活動を通して、身近な人々との関わりに関心を持ち、適切に行動する。 ・「自分と社会とのかかわり」については、1年を通じて公園の周りの施設や商店を調べたり、年中行事について調べたりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。 ・「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、虫探しをしたり、木の実を使ったおもちゃづくりをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にし、自分たちの遊びや生活を工夫する。 ・「自分自身に関すること」については、どんなことができるようになったかを振り返ったり、大きくなった自分を想像して友達に伝え合ったりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 ・「学び方に関すること」については、町探検や動植物の観察で気付いたことを絵や文でかき表したり、将来の自分について新聞や巻物等でまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。 ○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、観察する時に携帯できる「ポケットずかん」を掲載したり、調べ活動を行うために必要な知識や道具の使用方法が分かる「べんりてちょう」を掲載したりするなどの工夫をしている。 			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（第2学年）、キャラクターが思考を促すヒントの投げかけをしたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 植物の生長や昆虫の成長を時間ごとに掲載したり（全学年）、児童の気付きや考えを膨らませる吹き出しを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 関連する項目が記載されているページ番号や安全面で注意しなければならない「ちゅうい」マークを付したり（全学年）、紙面の配色や文章の見やすさに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。 			
そ の 他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	4・大日本	第1・2学年	生活133 生活134	新版 たのしい せいかつ 上 なかよし 新版 たのしい せいかつ 下 はっけん
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分と人とのかかわり」については、学校探検で見つけたことを教え合ったり、友達やお世話になった人に感謝の気持ちをこめたカードを届けたりする活動を通して、身近な人々との関わりに関心をもち、適切に行動する。 ・「自分と社会とのかかわり」については、1年を通じて商店街や家の暮らしについて調べたり、町の施設について調べたりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。 ・「自分と自然とのかかわり」については、1年を通じて野外で自然に触れる活動を設定し、虫眼鏡を使って虫を観察したり、草花遊びをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫する。 ・「自分自身に関すること」については、自分のよいところを発見したり、自分が幼かったころの様子を調べて発表したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 ・「学び方に関すること」については、年間を通してかいた絵や文を比較したり、町探検で調べたことを大きな地図にまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、観察したことを書き表すのに必要な言葉が学習できる「せいかつことば」を掲載したり、観察や工作等に便利な「くしゅうどうぐばこ」を掲載したりするなどの工夫をしている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 半透明のシートを使って風景や時間の違いを比較したり(全学年)、「ビンゴカード」で動植物の様子や匂い、手触りを自分で発見したり(第2学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 観察や発見を記録するカードの例を紹介したり(全学年)、植物の植え方や動物の飼育方法を並列して記載したり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 事故や怪我を防止するための注意や道具を上手に使用方法を記載したり(全学年)、紙面の配色や写真、イラストのレイアウトを工夫したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	1 1 ・ 学 図	第 1 ・ 2 学 年	生活 135 生活 136	みんなとまなぶ せいかつ 上 しよながっこう みんなとまなぶ せいかつ 下 しよながっこう
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、地域の商店街の人々と交流したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動する。 ・ 「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や消防署などを繰り返し訪問したり、調べたりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。 ・ 「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃづくりをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫する。 ・ 「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、幼かったころの自分について調べたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 ・ 「学び方に関すること」については、虫について調べたこと伝える絵カードを作ったり、町探検の結果を壁新聞にしてまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、単元末に学習スキルをまとめた資料「学びかたずかん」を掲載したり、各巻に単元の学習をさらに広げるよう促す資料「チャレンジずかん」を掲載したりするなどの工夫をしている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（第2学年）、学習の様子を表すキャラクター4人を上下巻で共通にし、ストーリー性をもたせたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元を「導入→企画→実行→振り返り」の4段階で構成したり（全学年）、巻末に活動を広げるための資料「ものしりノート」を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元の学習時期が分かるような目次（全学年）や、活動と関連の深い図鑑及び資料を示したり（全学年）、紙面の配色に配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	17・教出	第1・2学年	生活 137 生活 138	せい み な な か よ し せ い な か よ し 上 な か よ し ひ ろ が れ
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている <ul style="list-style-type: none"> ・「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、公共施設で働く人々と交流したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動する。 ・「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館などを繰り返し調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。 ・「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃの発表会をしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫する。 ・「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、自分や友達のよさを探したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 ・「学び方に関すること」については、町探検で調べた店を紹介するポスターを作ったり、複数の意見を付箋紙を使ってまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻末に学習に必要なスキル等をまとめた資料「ぐんぐんポケット」を掲載したり、季節ごとの動植物の様子を伝える資料「のはらのカレンダー」を掲載したりするなどの工夫をしている。 			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちの自慢の例として釧路市の幣舞橋から見た夕陽を取り上げ、地域のよさについて気付かせたり（第2学年）、学習をサポートするキャラクターが活動の視点や注意点を示したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元末に自己評価を行う「単元チェック」の欄を設けたり（全学年）、巻末に学習記録を書き込む「生活科ノート」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 小單元ごとに学習のねらいなどを示す欄（全学年）や、活動の広がりを促す欄「はっ見ヒント」を設けたり（全学年）、紙面のレイアウトや配色に配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。 			
そ の 他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	38・光村	第1・2学年	生活 141 生活 142	せいかつ上 みんな だいすき せいかつ下 みんな ともだち
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている <ul style="list-style-type: none"> ・「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、地域のパン屋を取材したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心を持ち、適切に行動する。 ・「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館などを調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。 ・「自分と自然とのかかわり」については、1年を通じて野外で自然に触れる活動を設定し、草花遊びをしたり、木の実を使った遊びをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫する。 ・「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、幼かったころの自分について調べたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 ・「学び方に関すること」については、町探検で調べたお店を紹介するポスターを作ったり、自分の成長を巻物にしてまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、単元での学習の広がりをもつページ「もっとやってみたい」を設けたり、巻末に季節ごとに動植物や町の様子の変化を示す資料「きせつのおくりもの」を掲載したりするなどの工夫をしている。 			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻にオリジナルソングを掲載し、歌に合わせて友達や先生とやりとりしたり（全学年）、単元の導入ページに児童の生活や経験と単元の活動を結び付ける言葉を位置付けたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各単元をホップ(導入)・ステップ(展開)・ジャンプ(振り返り・発展)の3段階で構成したり（全学年）、ステップの段階に活動を広げるヒントを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 歌う活動があるページに♪マーク（全学年）や、安全上の注意が必要な場面に！マーク（全学年）を付したり、紙面の配色に配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。 			
そ の 他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	6 1 ・ 啓林館	第 1 ・ 2 学 年	生活 143 生活 144 生活 145	わくわく せいかつ上 せいかつ たんけんブック いきいき せいかつ下
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に小学校を紹介したり、地域の菓子店を取材したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動する。 ・ 「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館などを繰り返し調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。 ・ 「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃづくりをする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にし、自分たちの遊びや生活を工夫する。 ・ 「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、幼かったころの自分について調べたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 ・ 「学び方に関すること」については、虫について調べたこと壁新聞にまとめたり、複数の意見を付箋紙を使ってまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、野外活動にかかわる内容を別冊「せいかつたんけんブック」にまとめて記載したり、巻末に学習に必要なスキル等をまとめた資料「わくわくずかん」を掲載したりするなどの工夫をしている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（第2学年）、活動や気付きのヒントをキャラクターの吹き出しや文章で示したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元を「わくわく」、「いきいき」、「つたえあおう」、「ちゃれんじ」の4段階で構成したり（全学年）、自分の考えや願いを直接書き込むページを設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末の資料や別冊との関連を示すマーク（全学年）や、活動の段階を示すマークを付したり（全学年）、紙面の配色に配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	1 1 6 ・ 日 文	第 1 ・ 2 学 年	生 活 146 生 活 147	わたしとせいかつ上 みんな なかよし わたしとせいかつ下 ふれあい だいすき
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に小学校の様子を伝えたり、地域で働いている人々と交流したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動する。 ・ 「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館などを調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。 ・ 「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃづくりをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫する。 ・ 「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、自分や友達のよさを探したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 ・ 「学び方に関すること」については、飼育した動物へ手紙を書いたり、自分の成長を巻物にしてまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、単元末に様々な草花遊びをまとめた資料「くさばなあそびずかん」を掲載したり、巻末に季節の行事や世界の料理などをまとめた資料「なんでもずかん」を掲載したりするなどの工夫をしている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 冬の行事として「くしろふゆまつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（第1学年）、同じページの写真・イラスト・絵カードをそれぞれ関連付け、ストーリー性をもたせたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 次の活動のヒントとなる言葉を吹き出しに示したり（全学年）、単元末に絵カードを整理し、学習を振り返ることができるページを設けたり（第1学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ ページ右下の挿絵で家庭との連携（全学年）や、巻末の資料との関連を示すマークを付したり（全学年）、紙面の配色に配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	（この欄は空欄です）			